

未来のために、 今できること

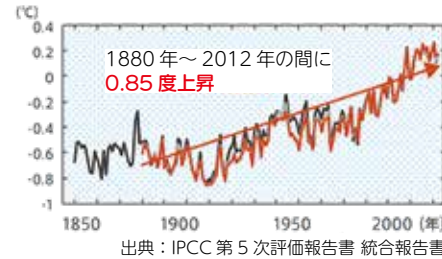
なぜ私たちの行動が必要なのか

最近「脱炭素」という言葉をよく聞きませんか？この「脱炭素」は「**私たちの暮らし**」にあまり関係ないと思っている方もいるかもしれませんが、この「脱炭素」は、「**地球温暖化対策**」として、世界規模で取り組まなければならない大きな課題なのです。では、私たち一人一人はどのような行動が必要なのでしょう？

📌 環境保全課（霞ヶ浦庁舎）

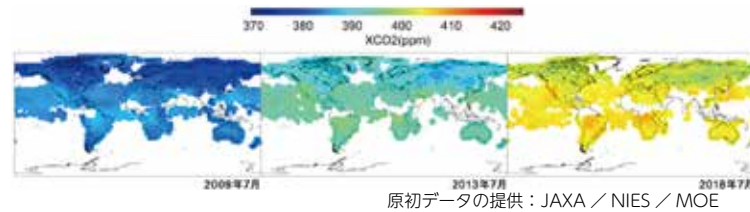
①地球温暖化の現状

気候変動に関する政府間パネルの第5次評価報告書（2013～14年）によると、陸域と海上を合わせた世界平均地上気温は、1880年から2012年の間に**0.85度上昇**しました。最近30年の各10年間は、1850年以降のどの10年間よりも高温を記録しています。



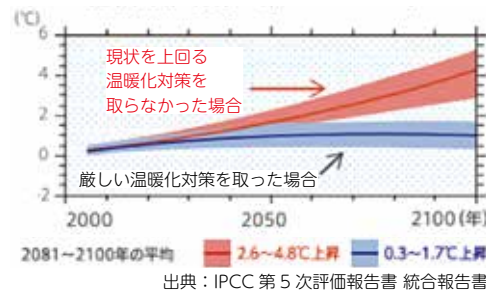
②増加し続ける二酸化炭素（CO2）濃度

産業革命以来、石油や石炭などの化石燃料を燃やしてエネルギーを取り出し、経済を成長させてきました。その結果、大気中のCO2濃度は、産業革命前に比べて**40%も増加**しました。**温室効果ガス観測技術衛星「いぶき」(GOSAT)**の観測でも、増加傾向が見られます。



③21世紀末の地球は？

第5次評価報告書では、20世紀末頃（1986年～2005年）と比べて、有効な温暖化対策を取らなかった場合、21世紀末（2081年～2100年）の世界の平均気温は、**2.6～4.8度上昇**（赤色の帯）、厳しい温暖化対策を取った場合でも**0.3～1.7度上昇**（青色の帯）する可能性が高くなります。さらに、平均海面水位は、最大**82cm上昇**する可能性が高いと予測されています。



地球温暖化によるさまざまな影響

ここ数十年の気候変動は、人間の生活や自然の生態系に影響を与えています。例えば、氷河の融解や海面水位の変化、洪水や干ばつなどの影響、陸上や海の生態系への影響、食料生産や健康など人間への影響が観測され始めています。

気温の上昇

現在以上の温暖化対策を取らなかった場合、最高気温**30度**以上の真夏日は更に増加すると予測。東京の現在の真夏日は年間約**46日**、21世紀末には年間約**103日**。1年の3割近くが真夏日となる。

海面水位の上昇

気候変動が及ぼす海面水位の上昇は、沿岸や低平地などに住む人々の暮らしに大きな影響を与える。台風による高潮、沿岸域の氾濫、海岸侵食による被害をより多く受ける。

農作物への影響

食料生産への影響。水稻は高温による品質の低下。果樹の着色不良や発芽不良。漁獲量への影響もあり。

感染症の影響

蚊を媒介する感染症や水を媒介する感染症が拡大する。

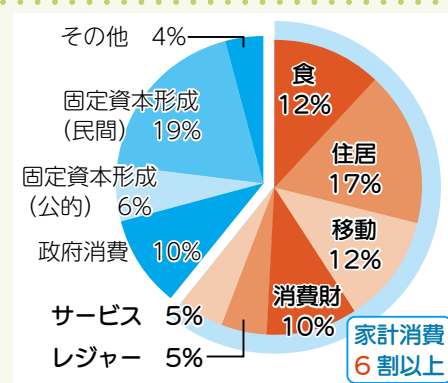
私たち一人一人はどのような行動が必要なのか？

日本のCO2排出量の**約6割**が、衣食住を中心とする「**ライフスタイル**」に起因しています。（1人当たり年間7.6t / CO2排出（2017年））

衣・食・住・移動など、私たちが普段の生活の中で消費する製品・サービスのライフサイクル（製造、流通、使用、廃棄などの各段階）において生じる温室効果ガスが、日本のCO2排出量の**約6割**を占めているのです。

私たちが、生活の中で少し工夫をしながら、無駄をなくし、環境負荷の低い製品・サービスを選択することで、こうしたライフスタイルに起因するCO2削減に大きく貢献することができます。

脱炭素社会づくりに貢献するための「**COOL CHOICE**」に賛同し、「**ゼロカーボンアクション30**」を始め、できるところから、カーボンニュートラルなライフスタイルに取り組んでみませんか。地球環境を守るだけでなく、経済的かつ快適で、質が高く、心豊かな暮らしにもつながるかもしれません。



COOL CHOICE をしよう！

「COOL CHOICE」って何？

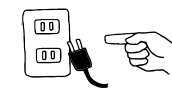
CO2などの温室効果ガスの排出量削減のために、脱炭素社会づくりに貢献する取り組みのことです。



ゼロカーボンアクション30

エネルギーを節約・転換しよう！

- ① 再生エネルギーへの切り替え
- ② クールビズ・ウォームビズ
- ③ 節電
- ④ 節水
- ⑤ 省エネ家電の導入
- ⑥ 宅配サービスができるだけ1回で受け取る
- ⑦ 消費エネルギーの見える化



CO2の少ない交通手段を選ぼう！

- ⑮ スマートムーブ（徒歩・自転車・公共交通機関）の利用
- ⑯ ゼロカーボン・ドライブ
…再生可能エネルギー電力（再生エネルギー）と電気自動車（EV）・プラグインハイブリッド車（PHEV）・燃料電池自動車（FCV）を活用した、走行時CO2排出量ゼロのドライブ



サステナブルなファッションを！

- ⑲ 今持っている服を長く大切に着る
- ⑳ 長く着られる服をじっくり選ぶ
- ㉑ 環境に配慮した服を選ぶ



CO2の少ない製品・サービスなどを選ぼう！

- ㉒ 脱炭素型の製品・サービスの選択
- ㉓ 個人のESG投資
…環境・社会・企業統治の3つの観点から企業を分析、評価した上で投資を選別する方法



太陽光パネル付き・省エネ住宅に住もう！

- ⑧ 太陽光パネルの設置
- ⑨ ZEH（ゼッチ）
…消費エネルギーを減らしエネルギーを創る住宅
- ⑩ 省エネルギーフォーム・窓や壁などの断熱リフォーム
- ⑪ 蓄電池（EV・車載の蓄電池）・蓄エネ給湯機の導入・設置
- ⑫ 暮らしに木を取り入れる
- ⑬ 分譲も賃貸も省エネ物件を選択
- ⑭ 働き方の工夫（テレワーク・オンライン会議）



食品ロスをなくそう！

- ⑰ 食事を食べ残さない
- ⑱ 食材の買い物や保存などで、食品ロスの削減を工夫
- ⑲ 旬の食材、地元の食材でつくった菜食を取り入れた健康な食生活
- ⑳ 自宅でコンポスト（生ごみのたい肥化）



3R（リデュース、リユース、リサイクル）

- ㉔ 使い捨てプラスチックの使用をなるべく減らし、マイバッグやマイボトルなどを使う
- ㉕ 修理や補修をする
- ㉖ フリマ・シェアリング
- ㉗ ごみの分別処理



植林やごみ拾いなどの活動

- ㉘ 植林やごみ拾いなどの活動



冬はウォームビズを CHOICE

ウォームビズは、過度な暖房に頼らずさまざまな工夫をして冬を快適に過ごすライフスタイルのことです。



首、手首、足首の「3つの首」を温めましょう

- ・マフラーや手袋、レッグウォーマーを活用
- ・お風呂上がりには1枚多く羽織り、寝るときも、首にタオルで温かく



素材に着目しおしゃれに温まりましょう

- ・軽くて薄い腹巻など、機能性素材の下着を着用
- ・セーターなど上に羽織るものは機能性素材を選んで着ぶくれ防止



「鍋」で体も室内も温めましょう

- ・鍋を楽しみながら、体も室内も温かくして、暖房を緩和
- ・鍋からの湯気による加湿効果で体感温度がさらに上昇
- ・根菜類やショウガなど、体を温める食材を食べる



湿度を意識し、体感温度を上げましょう

- ・温度計や湿度計を近くに置いて室内環境を「見える化」
- 窓やドアに注目しましょう
・窓は断熱シート、複層ガラス、二重サッシなどを活用